

要望事項 (優先順位 4)

高校生の通学手段の確保について

要 旨

現在、別所地域からは高校に通学する公共交通がありません。京都バスの始発では、一番近い北陵高校でも、到着時には9時を過ぎてしまいます。このため近年、「家族」で故郷を離れる家庭が増加しています。兄弟がいなくなり、花背小中学校の児童生徒も減少しています。

P T Aからの強い要望でもありますので、御検討をお願いします。10年前にも同じ件で「京都バス」へ要望しましたが、却下されました。

従って、行政の方で何かの案を掲示していただきたいと思います。

公立高校で一番近い高校（北桑田高校・北陵高校）で結構ですので、「コミュニティバス」の運行等の検討をお願いします。（地元負担も踏まえて）

回 答**(都市計画局)**

今年度を「北部山間地域移住促進元年」と位置付け、都市部に近接し、便利な田舎暮らしができる北部山間地域の「魅力発信」をはじめ、「移住相談」、「地域の取組支援」、「お試し居住体験」、「定着支援」という流れにより、移住を促進するための取組を総合的に進めております。

御要望されておりますバスの運行につきましては、一般に、バス路線の増便又は新設については、バス事業の根幹をなし、事業の継続性にも関わることから、慎重な検討が必要となります。また、現在の運行ダイヤを変更する場合につきましても、現在の御利用者の不利益につながる可能性もございますので、慎重な対応が必要となっております。

新たなバスの運行につきましては、運行する地域の状況や利用される方の情報など運行に際しての基礎的な情報を収集しつつ、安定的に継続して運行していく方策について、行政のみならず、地域の皆様と一緒に考え、実現に向けて、地道に取り組んでいく必要があります。

本市といたしましても、北部山間地域における運転免許を持たない高齢者や小・中・高校生の移動手段の確保については、喫緊の課題だと考えており、どのようにすれば地域に必要とされる公共交通を維持確保できるのかを地元の皆様と共に検討したいと考えておりますので、御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。